

1 基本情報

事業名称	多胎児家庭等支援事業				
事業目的	多胎児を育てる保護者は、多胎児特有の悩みや不安があり、多胎児の育児について話しあえる仲間と一緒に、悩みや不安を共有したいという思いがある。多胎児の保護者が交流を通じて悩みや不安を共有し、出産や育児の不安を軽減する。				
事業概要	多胎児を妊娠している妊婦、多胎児とその保護者（原則南区在住）を対象とし、保護者と子どもが交流することができ、また、子育て等に関する情報を得ることができる場「チェリーサークル」を提供する。保育士等による手遊びなどを通じて、交流が図りやすい雰囲気を醸成する。				
実施主体	南保健センター	実施場所	南保健センター	実施時期	年4回程度

2 設定指標

活動指標	参加者アンケート「多胎妊娠・多胎児育児に関する情報や悩み等を共有できた」の割合		R4	R5	R6	R7
		目標			100%	100%
		実績			アンケート実施なし	100%
成果指標	健康診査問診票「保健センター保健師に相談できることを知っている」多胎児家庭割合		R4	R5	R6	R7
		目標	100%	100%	100%	100%
		実績	83%	100%	100%	83%

3 事業評価

決算額 35,000 円

①妥当性	○	②費用対効果	○	⑤総合評価	○	評価基準
南区は出生数が減少傾向にある中、多胎児の保護者同士が身近な場で出会える機会は少ない。「チェリーサークル」は出会いの場として保護者と子どもが交流できるだけでなく、子育てに関する情報を得ることができる場となった。		虐待予防の観点から多胎児家庭の孤立予防・子育て支援の意義は大きい。		多胎児を育てる保護者は、多胎児特有の悩みや不安があり、育児不安の軽減・孤立予防の観点から多胎児家庭への支援は必要である。令和8年度は、区域まちづくり事業から保健センター事業へ位置づけを変更し継続実施する。対象が南区民だけでなく堺市民となることで多胎児家庭の交流や支援の広がりが期待できる。		◎：非常に高い水準で達成 ○：十分な水準で達成 △：達成度が限定的 ×：達成されていない －：評価対象外
③庁内・公民等連携	○	④区の計画への寄与度	○			
子育て支援課の保育士と協働し、多胎児育児の先輩となる保護者の方を「チェリーサークル」に招いた。現在、乳幼児期の多胎児を育てる保護者にとって、今後の子どもたちの成長や育児の見通しを持てる機会となった。		多胎児の保護者が交流を通じて多胎児特有の悩みや不安を共有することで出産や育児の不安を軽減できた。				

4 課題と対応方針及び今後の方向性

課題	多胎児の育児について話しあえる仲間と一緒に、悩みや不安を共有できる場は引き続き必要。	今後の方向性	廃止
対応方針	区域まちづくり事業としては廃止。令和8年度から保健センター事業として継続実施。		